ICM 2026 Japan Forum に参加して

在アメリカ合衆国日本国大使館　特命全権大使
山田　重夫

本年 7 月，フィラデルフィアで国際数学者会議（ICM 2026）が開催され，私は 7 月 29 日の Japan Forum で御挨拶する機会をいただきました．ICM が米国で開催されるのは 40 年ぶりであり，また，本年は米国建国 250 周年という節目の年でもあります．米国建国の歴史を象徴するフィラデルフィアに世界各国の数学者が集い，活発な交流が行われていたことは，大変印象深いものでした．

Japan Forum は，2014 年のソウルでの開催以来，世界の数学者との交流を深める場として熱心に活動されてきたと伺いました．今回のフィラデルフィアでの Japan Forum にも，世界各国から多くの方々が参加されていました．その盛況ぶりに接し，日本の数学界が長年にわたり築いてきた国際的な交流と信頼の厚みを改めて感じるとともに，大変誇らしく思いました．

私は，全米各地を訪れる中で，研究者や学生を含む人と人との交流が果たす役割の大きさを実感しています．科学技術は安全保障，経済成長，社会に大きな影響を与える要素であり，外交への影響も増しています．外務省では，在外公館が担うネットワーク機能を強化するため，世界各国の日本人研究者をリスト化し，PI マップとして情報提供をする取組を開始しました．

今回の Japan Forum を通じ，世界各国の数学者が直接顔を合わせ，交流を重ねることの重要性を改めて感じました．こうした人的なつながりと信頼がさらに広がっていくことを願いつつ，Japan Forum で申し上げた御挨拶を以下にご紹介します．

『ICM 2026 Japan Forum にお招きいただき，誠にありがとうございます．数学界における世界最高峰の集まりである国際数学者会議（ICM）において，日本の数学界の皆様，そして世界各国からお越しの皆様にお会いし，ご挨拶できることを大変光栄に思います．

学生時代，数学が最も得意な科目だった，と申し上げられればよいのですが，実際にはむしろその逆でした．いつの日かこのような場でお話しする機会をいただくとは，夢にも思っていませんでした．世界を代表する数学者の皆様に囲まれて私がこ

こに立つ姿を見れば，両親もきっと驚き，そして大変誇らしく思うことでしょう．

まず，国際数学連合（IMU），日本学術会議数理科学委員会，日本数学会，そして本 Forum の開催に向けて尽力されたすべての皆様に，敬意申し上げます．また，フィールズ賞，チャーン・メダルをはじめ，今大会で栄誉ある各賞を受賞された皆様に，心からお祝い申し上げます．

本日これに先立ち，ここフィラデルフィアの「自由の鐘」と独立記念館を訪れました．ジョージ・ワシントン，トーマス・ジェファーソンをはじめとする多くの米国建国の先人たちが，その時代を方向づける重要な課題を議論し，アメリカの民主主義が形づくられていった，まさにその場所に立ち，深く心を動かされました．米国が建国 250 周年を迎えるこの歴史的な年に，世界中の数学者がこの地に集い，探究の自由，知的好奇心，そして知の交流を通じて真理を追求するという，人類が長く続けてきたもう一つの営みに取り組んでいることには，特別な意義を感じます．

基礎研究とは，それまで未知であったものを明らかにし，発見を新たな知へと変えていく営みです．数学は，その中心にあります．ほぼすべての学問分野において，数学は基礎研究を支える土台となっています．そして数学は，しばしば最初の発見から数十年を経た後に，イノベーションを生み，社会を変える力となります．

本年 6 月，日米両国は，米国の「Genesis Mission」と日本の「AI for Science」構想を結びつける戦略的パートナーシップを発表しました．11 の優先協力分野の一つには，「AI for Mathematics」が含まれています．AI の進展が，今度は数学研究と新たな発見のフロンティアを切り拓くことを期待しています．

日本には，数学における卓越した長い伝統があります．日本の数学者は，その独創性，創造性，そして粘り強さによって，数学の発展に大きく貢献してきました．昨年には，京都大学の柏原正樹教授が，日本人数学者として初めてアーベル賞を受賞されました．また，2023 年からは中島啓先生が国際数学連合（IMU）の総裁を務め，世界の数学コミュニティを力強く牽引されています．

私は外交官としてのこれまでの歩みの中で，世界各地，そして米国各地を訪れる機会に恵まれてきました．そうした経験を通じて，パートナーとして，同僚として，そして友人として，人と人とのつながりと信頼こそが，持続的な国際的パートナーシップの真の基盤であるとの思いを，ますます強くしています．

日本，そして世界の数学コミュニティが，機関間の協力と人と人との交流を長年にわたって積み重ねてこられたことに，感謝と敬意を表します．そこには，学生や研究者が国境を越えて生活し，学び，研究に取り組むことを可能にするプログラムも含まれています．

本日の Japan Forum が，さらなる学術交流を促し，日本と世界の数学者の皆様の間に新たな協力の機会を生み出すことを心から願っています．ICM 2026 の残りの日程が，活発な議論，心躍る発見，そして末永い友情に満ちた，実り多く刺激に富んだものとなることを願っています．ありがとうございました．』